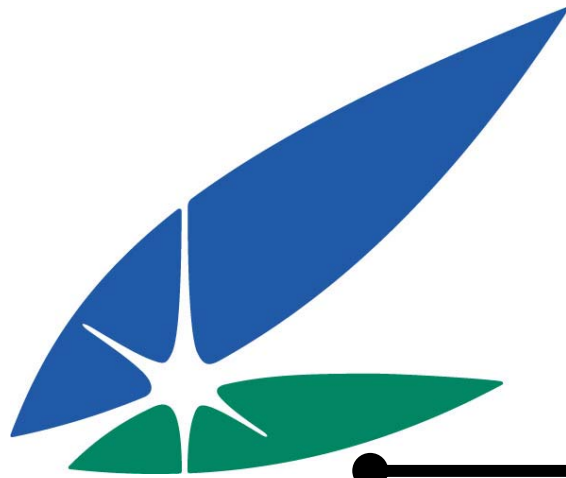


戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)



エネルギーキャリア

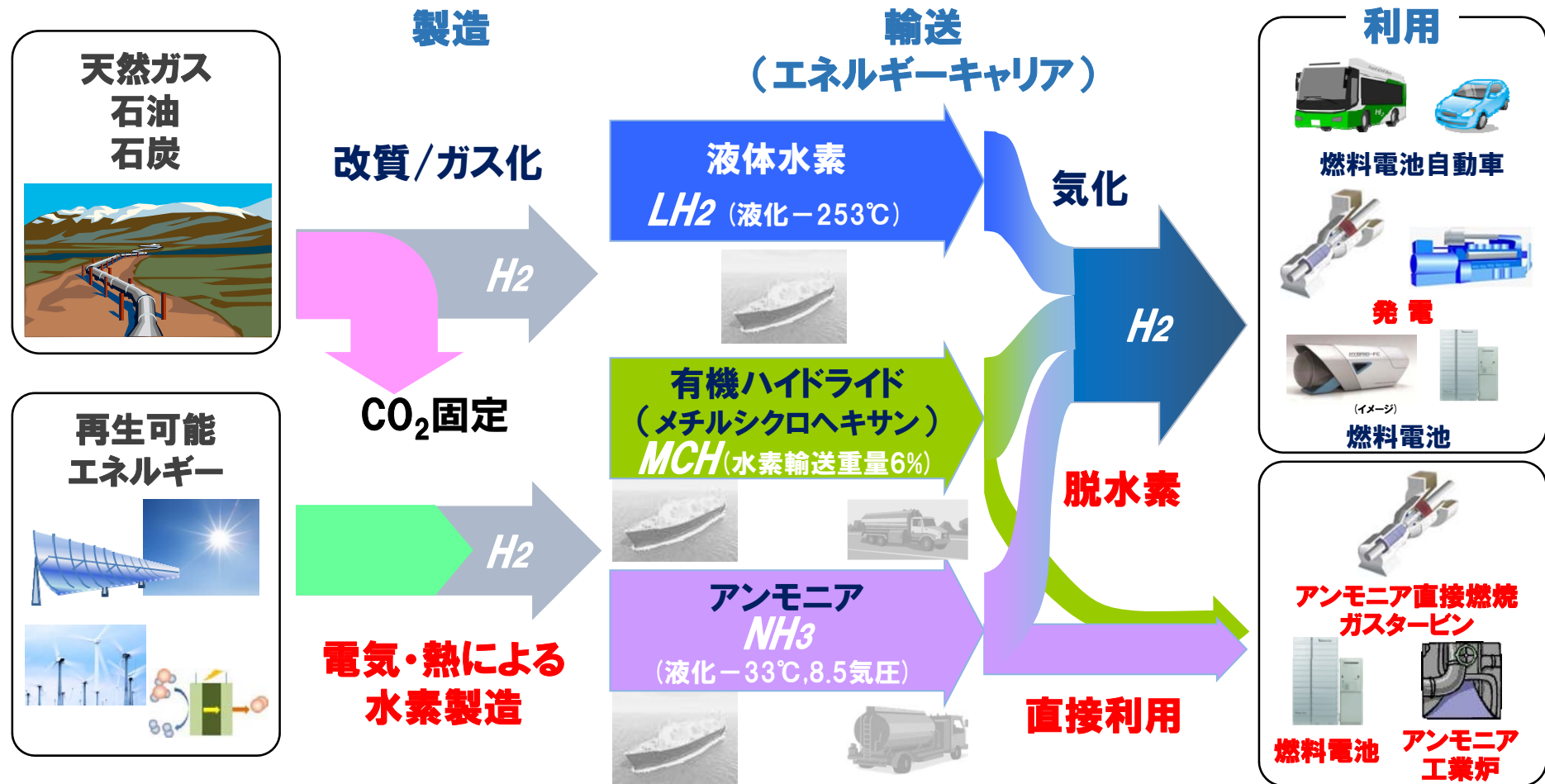
～新しいエネルギー社会の実現に向けて～

平成 27年 10月 15日

内閣府 プログラムディレクター

村木 茂

全体概要 ～「エネルギーキャリア」課題の取組み 〈CO₂フリー水素バリューチェーンの構築〉



- 水素は様々なエネルギー源から製造可能で、燃料にも電気にもなる。
(大幅なCO₂排出削減が可能)
- 水素は低熱量の気体であり、運搬・貯蔵が困難。水素を大量輸送する技術
(エネルギーキャリア)や水素をエネルギー源として利用する関連技術の開発が重要。

ビジョン

水素の「製造」、「輸送・貯蔵(キャリア)」、「利用」に関する技術開発を産官学の連携、ALL JAPANによる取り組みを強力に推進することにより、2030年までに日本が革新的で低炭素な水素エネルギー社会を実現し、水素関連産業で世界市場をリードすることを目指す。

2015-2020	2020-2030	2030-
燃料電池自動車、燃料電池コージェネの普及開始	- 左記の普及拡大 - 水素発電の導入	- 大規模水素発電 - CO₂フリー水素の大量導入
- 安価なCO₂フリー水素の製造技術、エネルギーキャリアとその利用技術の開発 2020オリンピック・パラリンピックを契機とした水素タウン(仮称)実証	- 水素・エネルギーキャリアによる高効率発電の実証 - より大規模な実証	日本の水素関連産業が世界市場で活躍

水素タウン実証で、2030年以降の本格的な水素社会を先取りして実現するプランを検討する。

対象分野と研究開発項目

【水素・エネルギーキャリア導入シナリオの検討・検証】

水素が社会に導入される条件の明確化および導入シナリオ策定。技術目標の妥当性確認や戦略策定に活用。

